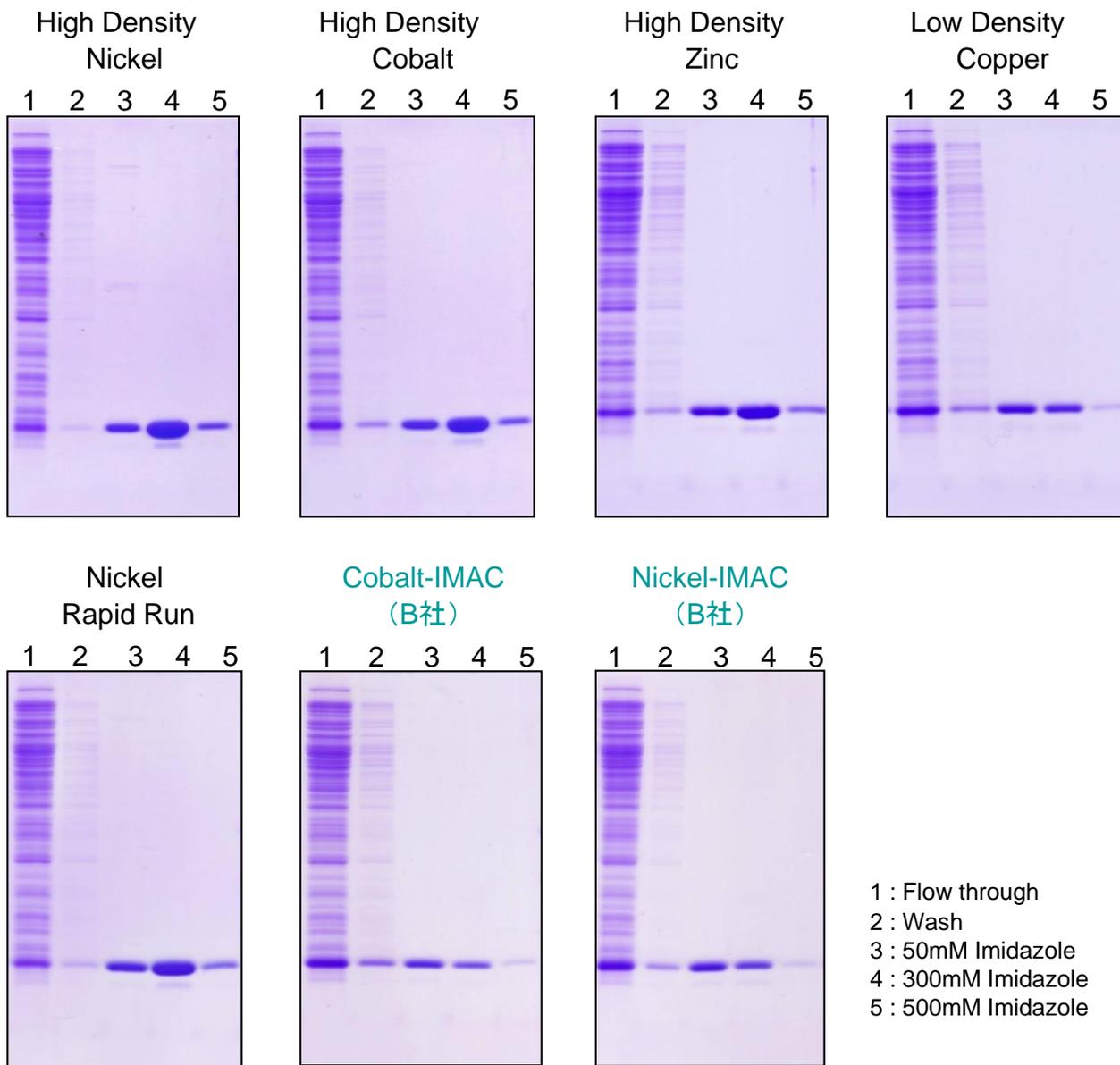


# 各種固定化金属レジンの精製例

## 電気泳動結果による純度の比較



各種金属イオン固定化レジンの精製したHisタグタンパク質 (6×His-8k) の純度を比較した(条件はアプリケーションデータ No.A003参照)。High Density レジンではHisタグタンパク質は主に300mMで溶出された。同画分の純度を比較すると、いずれも目的以外のバンドは検出されなかった。ただし、ニッケルレジンは非常にわずかであるが高分子領域に2本のバンドが検出された。同レジンの50 mM 溶出画分でこれらのバンドが検出されていることから、ニッケルレジンでは大腸菌由来の高分子バンドが非特異的吸着物として混入する傾向にあることがわかった。これらの結果から、精製純度を重視する場合には、ニッケル以外のコバルト等のレジンの使用が好ましい。他社のニッケルとコバルトレジンを同様に使用した結果、純度は問題ないが結合能はABTレジンに比べるとかなり低いことがわかった。

プロテノバ株式会社

〒769-2604

香川県東かがわ市西村1488番地1

TEL 0879-49-0702 / FAX 0879-49-0703

ホームページ <http://protenova.com>